

HSBC 新BRICs ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第15期(決算日2021年6月29日)

作成対象期間
(2020年6月30日～2021年6月29日)

第15期末(2021年6月29日)	
基準価額	16,630円
純資産総額	5,093百万円
第15期	
騰落率	45.8%
分配金(税込み)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC 新BRICs ファンド」は、2021年6月29日に第15期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、BRICs(ブラジル連邦共和国(「ブラジル」)、ロシア連邦(「ロシア」)、インド共和国(「インド」)、中華人民共和国(「中国」))諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

<<お問い合わせ先(投信営業本部)>>

電話番号: 03-3548-5690

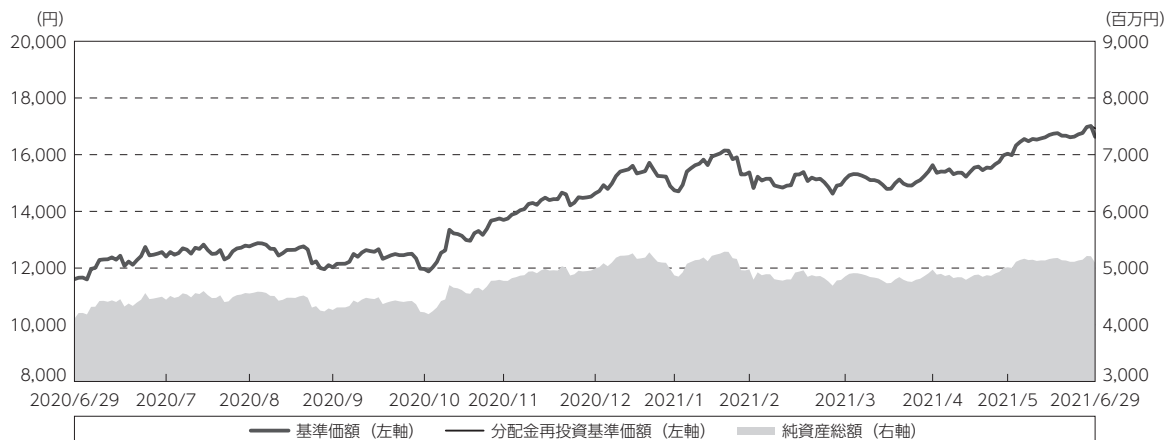
(営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp

◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第15期：2020年6月30日～2021年6月29日)



期首：11,609円

期末：16,630円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：45.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年6月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入上位に維持したガスプロムおよびルクオイル(ともに、エネルギー、ロシア)、ズベルバンク(銀行、ロシア)、リライアンス・インダストリーズ(エネルギー、インド)、ブラデスコ銀行(銀行、ブラジル)などの株価が大幅に上昇したことが、基準価額にプラス寄与となりました。また、ブラジルリアル、インドルピー、香港ドルが対円で上昇し、基準価額にプラスに働きました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	205	1.485	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(84)	(0.605)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(114)	(0.825)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(3)	(0.019)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	209	1.512	
期中の平均基準価額は、13,838円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

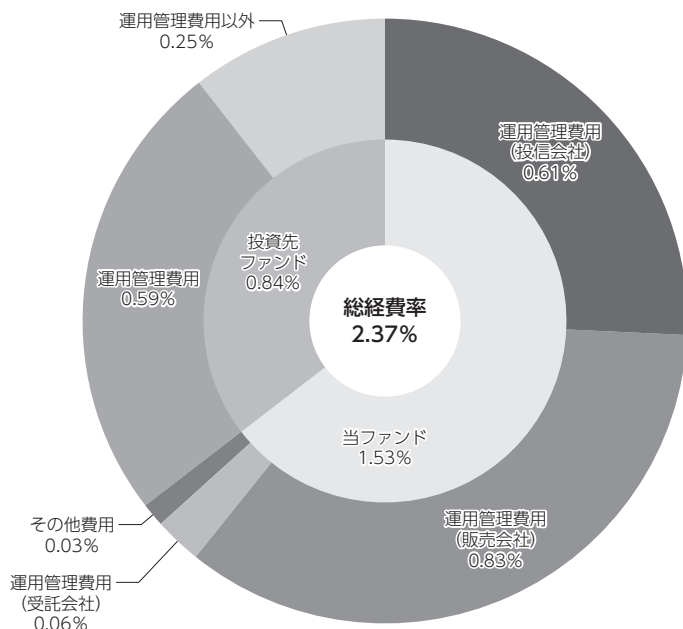
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 委託者は2020年6月1日から2021年5月31日までの期間に、管理会社より130,142.80米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.37
①当ファンドの費用の比率	1.53
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.25

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

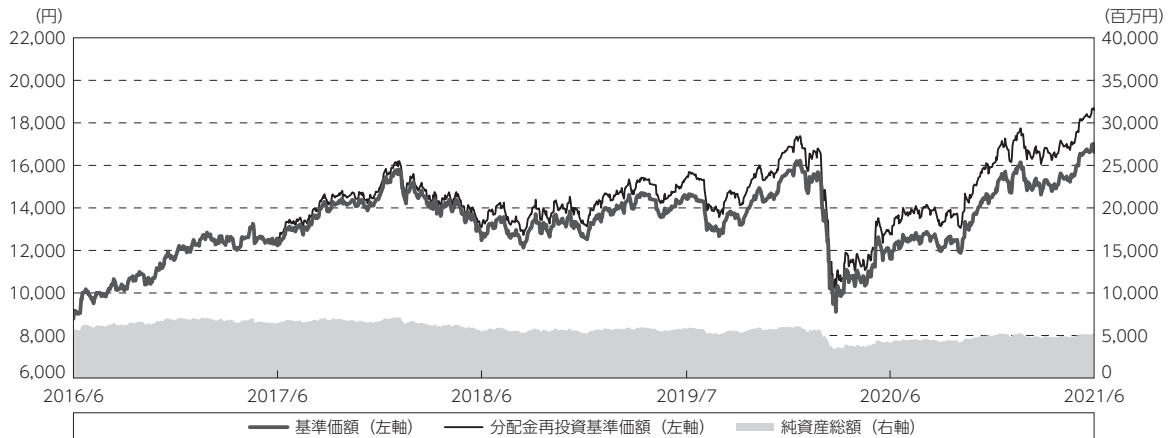
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「HSBC」を含まない投資先ファンドの経費率については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2016年6月29日～2021年6月29日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2016年6月29日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年6月29日 決算日	2017年6月29日 決算日	2018年6月29日 決算日	2019年7月1日 決算日	2020年6月29日 決算日	2021年6月29日 決算日
基準価額 (円)	8,784	12,232	12,476	14,429	11,609	16,630
期間分配金合計(税込み) (円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	42.7	4.4	18.1	△ 17.5	45.8
純資産総額 (百万円)	5,476	6,372	5,405	5,793	4,107	5,093

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

【株式市況】

当ファンドの投資対象であるBRICs株式市場は、期初から2021年2月半ばまでは上昇基調をたどりました。主要国による大規模な景気刺激策、金融緩和策を背景とした世界経済の回復見通し、新型コロナウイルスのワクチン普及への期待、個別国では、ブラジル、ロシアは原油・資源価格の上昇、インドは経済改革の前進と高い成長ポテンシャル、中国は他国に先駆けた新型コロナウイルスの感染収束と景気回復などがプラス要因となりました。2月下旬から3月にかけては、米国長期金利の上昇を受けた世界的な株式市場の調整を受けてBRICs株式市場も低迷し、その後、期末にかけては、ブラジル、ロシア、インドは強含み、中国は一進一退の展開となりました。

【為替相場】

期を通じて、投資対象市場の通貨は対円でまちまちの動きとなりました。ブラジルレアルは期初から2021年4月上旬までは方向感の乏しい動きとなりましたが、その後、4月下旬から期末にかけては米ドル高・円安の進行、ブラジル中央銀行による利上げ（3月から6月にかけて計2.25%）などを背景に大きく上昇しました。ロシアルーブルは期初から2020年10月までは対円で下落しましたが、その後は原油・資源価格の上昇、ロシア中央銀行による利上げ（2021年3月から6月にかけて計1.25%）などを背景に、期末にかけて上昇しました。インドルピーは期初から2020年末までは対円で一進一退の展開となりましたが、2021年1月から3月には米ドル高・円安の進行などを受けて上昇基調となりました。その後、4月上旬には新型コロナウイルスの感染急増で一時急落しましたが、4月下旬から5月にかけて新規感染者数が急減するとともに大きく値を戻し、その後は期末まで弱含みました。一方、米ドルに連動する香港ドルは期初から2020年末までは対円で緩やかに下落し、2021年1月から期末にかけては米ドル高・円安の進行などを背景に上昇しました。

ポートフォリオについて

<HSBC 新BRICs ファンド>

「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC マーケッツ エクイティ クラス J1C」の組入比率を高位に維持した一方、上場投資信託（ETF）の組入れを低位に保ち、BRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）諸国の株式等に投資しました。

<HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ>

金融およびエネルギーセクターに重点投資し、期を通じて、全体の40~50%程度を組み入れました。また、組入銘柄については、ガスプロムおよびルクオイル（ともに、エネルギー、ロシア）、ズベルバンク（銀行、ロシア）、リライアンス・インダストリーズ（エネルギー、インド）、ブラデスコ銀行（銀行、ブラジル）、アリババ・グループ・ホールディング（ソフトウェア・サービス、中国）などを組入上位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、300円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第15期
	2020年6月30日～ 2021年6月29日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	1.772%
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,630

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

世界経済は回復局面に入っているものの、回復のペースは国および地域により異なり、新型コロナウイルスのワクチン普及や政策支援に左右されることが考えられます。こうした中、ブラジルではワクチン接種の進展に伴う力強い景気回復を背景とした企業収益の改善への期待、ロシアでは他の新興国と比較して割安な株価水準や相対的に高い予想配当利回り、インドではワクチン普及への期待感と高い成長ポテンシャル、中国では国内景気回復などが、各々、株式市場の好材料になると思われれます。一方、ブラジル、ロシア、インドでは国内の新型コロナウイルスの感染者数の動向が折に触れ相場の重しになることから、当面、感染者数の推移には留意していきます。

<HSBC 新BRICs ファンド>

引き続き「HSBC G I F B R I C マーケッツ エクイティ」への投資比率を高位に保つ方針です。

<HSBC G I F B R I C マーケッツ エクイティ>

BRICs各国の経済見通しや市場・金融環境全般の状況を考慮しながら、収益性とバリュエーションによる個別銘柄選択を重視して引き続きポートフォリオを構築していく方針です。

◆お知らせ◆

＜約款変更のお知らせ＞

ありません。

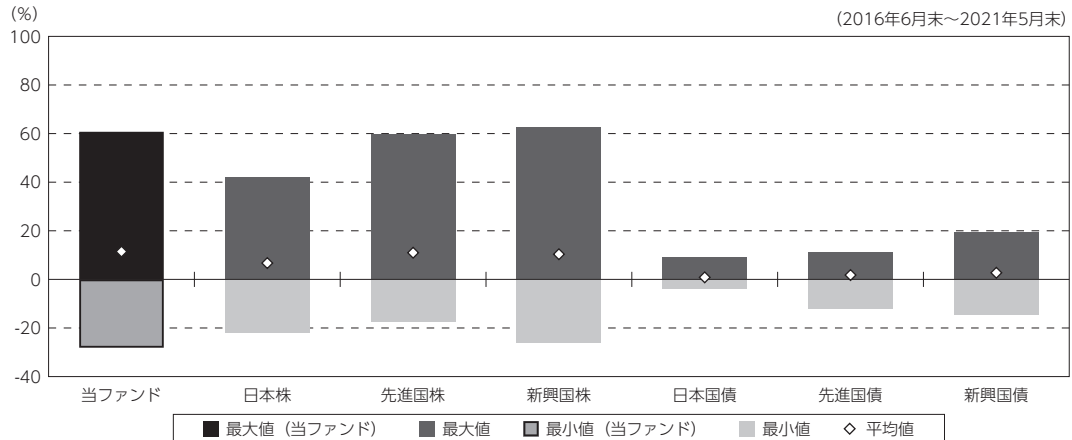
＜その他のお知らせ＞

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更します。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、BRICs 諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC マーケッツ エクイティ クラス J1C」(「HSBC G I F B R I C マーケッツ エクイティ」) およびETF (上場投資信託) に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ HSBC G I F B R I C マーケッツ エクイティの投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。 ・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年6月29日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.7	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 28.1	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.0	△ 4.0	△ 12.3	△ 14.5
平均値	11.4	6.7	11.0	10.3	0.8	1.8	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年6月から2021年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2021年6月29日現在)

当ファンドの組入資産の内容

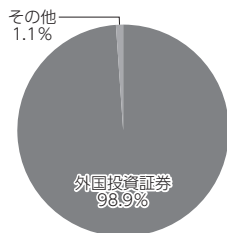
○組入上位ファンド

銘柄名	第15期末
HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ	98.6%
iShares MSCI BRIC ETF	0.4%
組入銘柄数	2銘柄

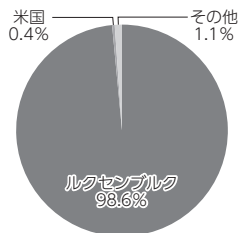
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

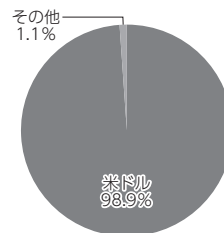
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項目	第15期末	
	2021年6月29日	
純資産総額	5,093,197,663円	
受益権総口数	3,062,570,829口	
1万円当たり基準価額	16,630円	

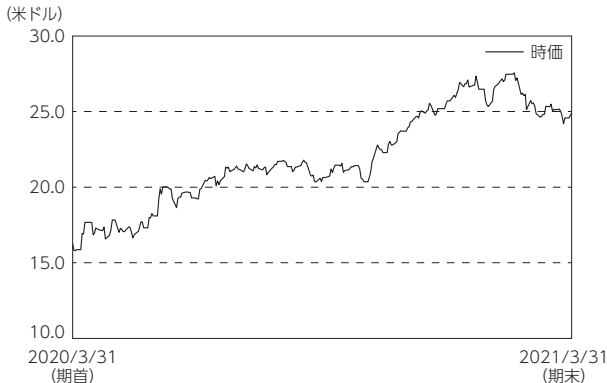
(注) 期中における追加設定元本額は241,578,863円、同解約元本額は717,360,311円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC マーケッツ エクイティ クラス J 1 C (「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」) (計算期間 2020年4月1日～2021年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



* 上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

(2021年3月31日現在)

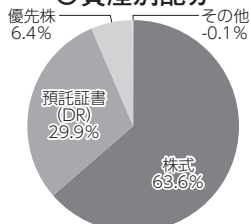
順位	銘柄名	国(地域)	業種/種別等	比率
1	ルクオイル ADR	ロシア	エネルギー	6.5%
2	ズベルバンク ADR	ロシア	銀行	6.4%
3	ガスプロム ADR	ロシア	エネルギー	6.1%
4	リライアンス・インダストリーズ	インド	エネルギー	5.6%
5	アリババ・グループ・ホールディング ADR	中国	ソフトウェア・サービス	4.6%
6	ブラデスコ銀行 PN	ブラジル	銀行	4.5%
7	騰訊控股	中国	ソフトウェア・サービス	3.8%
8	ノボリベツク製鉄所 GDR	ロシア	素材	3.2%
9	バンドハン銀行	インド	銀行	2.9%
10	シュリラム・トランスポート・ファイナンス	インド	各種金融	2.6%
組入銘柄数			46銘柄	

・組入上位10銘柄は、「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」の決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。

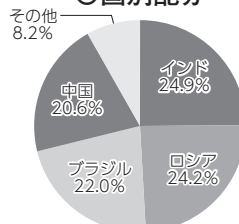
・組入比率は「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・全銘柄に関する情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

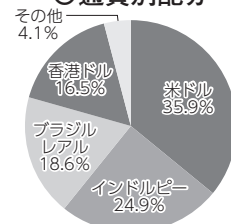
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・上記は「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」の決算日現在のものです。

・配分は「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

・国別配分は、国・地域別による配分です。

・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆指数に関して◆

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。